

# くにたち

「温故知新」(故きを温ねて新しきを知る)という言葉があります。孔子の「論語－為政」の中で語られているもので、耳にしたことがある方も多いと思います。教師になるための心構えを説いたものとされ、意味は古くからの考えを学び、そのうえで新しい解釈を得るということとされています。この言葉は、研究開発にも当てはまると考えています。先人が培った研究や技術を調べると、その中には当時の最先端のセンシング技術が使われていたり、データを取得するための工夫があります。現在は、センシング技術の発展により、詳細なデータが手軽に得られ、それを処理する技術も日進月歩で進化しています。先人の研究と最新の技術動向を学び、組み合わせることで、さらに研究を飛躍させて新たな知見を得ることが可能になります。このようなコンセプトの下、今月号では「新技術を鉄道に活かす」と題して、鉄道分野以外の技術進歩を活用した鉄道総研の研究を紹介しました。今後もAIなどの最新技術を取り入れながら鉄道の安全・安定輸送に寄与する研究を進めていきます。

次号の特集は「日本と海外における鉄道技術の違い」です。どうぞご期待ください。(Y.K.)

# RRR

ご注文は(一財)研友社へ  
TEL: 042-572-7157  
FAX: 042-572-7190  
<https://www.kenf.jp/>

次号予告

2026年3・4月号 (Vol.83 No.2)

特集 日本と海外における鉄道技術の違い

\*タイトルは変更する場合があります。

■鉄道総合専門誌■

JR gazette JRガゼット 定価639円+送料88円  
(ともに消費税込み)  
年間購読料7,668円  
(消費税込み+送料サービス)  
鉄道事業各社の業務運営に供する

■ 2月号主要目次 ■

特集：マナー向上への取り組み

連載等

- 鉄道の未来を創る研究開発  
沿線環境に適合する新幹線の高速化
- 公共交通の新潮流  
交通り・デザインを実現する関係者間合意形成  
プロセスの具体手法の提案

発行所  
(株)交通新聞社  
〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台2-3-11

図書のご注文は、  
TEL 03(6831)6622  
FAX 03(6831)6624

## 鉄道総研イベント情報

2026年  
2月18日 水

第380回 鉄道総研月例発表会

防災技術および環境工学に関する  
最近の研究開発

日本工業倶楽部会館

2026年  
3月11日 水

第381回 鉄道総研月例発表会

鉄道構造物に関する最近の研究開発

日本工業倶楽部会館

※詳細は鉄道総研ウェブサイトでご案内させていただきます。